

令和元年度 政策評価表

総合的に取り組む重点課題	人と自然が共生するまち”エコタウン所沢”の実現	ゼネラルマネージャー	環境クリーン部長 廣川 澄芳
--------------	-------------------------	------------	-------------------

後期基本計画で掲げた取り組み方針

- 1 エネルギー・資源の抑制と創出
- 2 ふるさとのみどりの保全と創出
- 3 もったいない！ 3R行動の実践

1. ゼネラルマネージャーによる活動計画

計画期間における方向性	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 まちごとエコタウン所沢構想(以下、「構想」という。)に基づき、省エネルギー・創エネルギーに関する施策を展開し、市の事務事業や市域から排出される温室効果ガスの削減を図り、地球温暖化対策を推進する。			
	《②ふるさとのみどりの保全と創出》 市・市民・市民団体・事業者による主体的な取り組みと協働により、本市の魅力あるみどりを保全するとともに、街中のみどりを創出するため、公園の整備や道路・学校等の緑化のほか、みどりの街並みを形成する取り組みを推進する。			
	《③もったいない！ 3R行動の実践》 資源の消費を抑制した循環型社会の形成を目指し、リデュース(ごみの発生抑制・排出抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の取り組みを市民・事業者等との協力のもと推進する。			
各年度の目標	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)
	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 まちごとエコタウン所沢構想及び所沢市温暖化対策実行計画(以下、「実行計画」という。)の推進	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 構想及び実行計画の推進	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 構想及び実行計画の推進並びに当該計画等の全体検証・見直し	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 構想及び実行計画の推進並びに当該計画等の全体検証・見直し
	《②ふるさとのみどりの保全と創出》 所沢市みどりの基本計画(以下、「基本計画」という。)の推進及び前期分の検証	《②ふるさとのみどりの保全と創出》 基本計画の推進	《②ふるさとのみどりの保全と創出》 基本計画の推進及び改定	《②ふるさとのみどりの保全と創出》 基本計画の推進及び改定
各年度の活動内容	《③もったいない！ 3R行動の実践》 ・所沢市一般廃棄物処理基本計画の改訂 ・施策の計画と実施	《③もったいない！ 3R行動の実践》 施策の実施と調整	《③もったいない！ 3R行動の実践》 施策の実施と調整	《③もったいない！ 3R行動の実践》 所沢市一般廃棄物処理基本計画の部分改訂 ・H31年度の部分改正を目指し素案の作成・審議等
	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 【まちごとエコタウン推進事業】 ・埼玉エコタウンプロジェクト推進事業(重点実施街区内の公共施設へ蓄電池設置事業、公園LED化整備事業) ・メガソーラー所沢設置運営事業 ・市有施設の屋根貸しによる太陽光発電事業 ・EV・PHV等エコカー充電設備設置運営事業 ・「実践！ 省エネ」エコファミリー大賞事業 ・まちごとエコタウン推進基金事業(スマートエネルギー推進補助事業、道路照明灯LED化整備事業、防犯灯LED化補助事業など) 【実行計画関連事業】 ・有機系太陽光電池の実証実験に関する協定の締結 ・啓発事業の実施(マチエコ大使の委嘱、ライトダウンキャンペーンイベントの実施、エコライフデーの実施、環境講演会の開催、環境展示・マチエコ展示の開催など)	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 【まちごとエコタウン推進事業】 ・埼玉エコタウンプロジェクト推進事業(フロード式太陽光発電設備設置運営事業、電力ピークカット等蓄電池実証実験等の実施) ・公共施設への太陽光発電設備の設置(こども福祉の未来館、西部クリーンセンター) ・地域密着型ローコスト太陽光発電等普及事業の検討・実施 ・まちごとエコタウン推進基金事業の検討・実施(スマートエネルギー推進補助事業など) 【継続事業】 メガソーラー所沢設置運営事業、EV・PHV等エコカー充電設備設置運営事業、「実践！ 省エネ」エコファミリー大賞事業	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 【構想等の検証・見直し】 ・構想と環境基本計画の一本化⇒第3期環境基本計画策定に着手(環境審議会の開催:5回、主な審議内容:環境の現況と課題、施策体系と分野別施策、推進方策、実行計画等) 【まちごとエコタウン推進事業】 ・埼玉エコタウンプロジェクト推進事業(電気自動車の導入、市民モニター調査・次世代自動車等試乗会・シンポジウムの実施等) ・地域新電力事業の検討 ・地域密着型ローコスト太陽光発電等普及事業の実施(マチエコ応援隊による展示相談会の拡充) ・まちごとエコタウン推進基金事業の実施(防犯灯LED化整備事業、スマートエネルギー推進補助事業等) 【継続事業】 メガソーラー所沢設置運営事業、フロード式太陽光発電設備設置運営事業、市有施設における屋根貸しによる太陽光発電設備設置事業、EV・PHV等エコカー充電設備設置運営事業など	《①エネルギー・資源の抑制と創出》 【構想等の検証・見直し】 ・まちごとエコタウン推進計画及び同重点実施計画の策定(3月) (環境審議会を4回開催、平成31年1月17日答申) 【まちごとエコタウン推進事業】 ・再生可能エネルギー普及推進事業(地域新電力事業の実施(※)とろざわ未来電力の設立等) ・水素ステーション設置促進事業 ・まちごとエコタウン推進基金事業の検討・実施(公共施設のLED化、スマートエネルギー推進補助事業など) 【継続事業】 メガソーラー所沢設置運営事業、フロード式太陽光発電設備設置運営事業、市有施設における屋根貸しによる太陽光発電設備設置事業、EV・PHV等エコカー充電設備設置運営事業、地域密着型ローコスト太陽光発電等普及事業 【実行計画関連事業】 ・『はじめよう ECO生活！』エコファミリー認定事業の実施 ・温暖化防止パンフレットの作成 ・啓発事業の実施(キャンドルナイトイベントの開催、マチエコ大使の活用など) 【国際プロジェクト関連事業】 ・IUCプロジェクト推進事業の実施 ・世界首長誓約/日本に誓約
	【実行計画関連事業】 ・『はじめよう ECO生活！』エコファミリー認定事業の実施 ・温暖化防止パンフレットの作成 ・啓発事業の実施(キャンドルナイトイベントの開催、マチエコ大使の活用など) 【国際プロジェクト関連事業】 ・IUCプロジェクト推進事業の実施 ・世界首長誓約/日本に誓約			

各年度の活動内容	<p>《②ふるさとのみどりの保全と創出》 【みどりの保全】 ・ミケ島二丁目里山保全地域の指定 ・保存樹木等の新たな支援事業の実施 ・学校と地域コミュニティの協働による緑地の保全・活用及び生態系ネットワークの検討 【みどりの創出】 ・保育園における緑化の実施 【公園等の整備】 ・所沢カルチャーパークの築造 【みどりの活動の推進】 ・みどりのパートナー活動に対する支援及びみどりのパートナー育成講座の実施 ・みどりのふれあいウォークの実施 ・狭山湖周辺人道橋整備事業に係る調査委託の実施</p>	<p>《②ふるさとのみどりの保全と創出》 【みどりの保全】 ・旧鎌倉街道沿里山保全地域等の指定 ・保存樹木等の支援の拡充 【みどりの創出】 ・保育園における緑化の実施 【公園等の整備】 ・所沢カルチャーパークの用地取得及び築造工事 ・松井地区街区公園の測量 【みどりの活動の推進】 ・みどりのパートナー活動に対する支援及びみどりのパートナー育成講座の実施 ・みどりのふれあいウォークの実施 ・狭山湖周辺人道橋整備事業に係る概略設計の実施</p>	<p>《②ふるさとのみどりの保全と創出》 【みどりの保全】 ・上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域等指定の推進 ・保存樹木等の支援の拡充 【みどりの創出】 ・保育園における緑化の実施 【公園等の整備】 ・所沢カルチャーパークの用地取得及び築造工事 ・松井地区街区公園の都市計画決定 【みどりの活動の推進】 ・みどりのパートナー活動に対する支援の実施及び里山指導員派遣 ・みどりのふれあいウォークの実施 ・狭山湖周辺人道橋整備事業に係る詳細設計の実施 【所沢市みどりの基本計画策定事業】 ・所沢市みどりの基本計画策定事業(期間:平成29年~30年度)</p>	<p>《②ふるさとのみどりの保全と創出》 【みどりの保全】 ・上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域の指定 ・駒ヶ原特別緑地保全地区の指定拡大 ・北秋津・上安松市民の森の指定 ・上安松まちなかみどり保全地区の指定 ・保存樹木等の支援の拡充 【みどりの創出】 ・保育園におけるグリーンカーペットの植栽の実施 【公園等の整備】 ・所沢カルチャーパークの用地取得及びキャンプ場利用開始 ・松井地区街区公園の事業認可取得及び設計業務の実施 【みどりの活動の推進】 ・みどりのパートナー活動に対する支援の実施及びみどりのパートナー育成講座の実施 ・みどりのふれあいウォークの実施 【所沢市みどりの基本計画策定事業】 ・所沢市みどりの基本計画策定事業(期間:平成29年~30年度)</p>
各年度の活動内容	<p>《③もったいない! 3R行動の実践》 所沢市一般廃棄物処理基本計画を改訂 【ごみの減量と資源化】 ・食品ロスゼロのまち協力店登録制度の開始(登録店舗142店舗: H28.1.14現在) ・雑がみ保管袋のモデル地区への配布(5自治会)及び効果検証を実施 ・古着・古布のモデル回収事業(2自治会)の実施及び効果検証 ・古着・古布の集積所収集を計画 ・ごみ分別アプリ「わけっこ!」の活用【もったいないの心の醸成】 ・エコロ祭り3DAYS・エコロの出張もったいない市・エコロのもったいない市【2days】を開催するなど、各種イベントを充実 ・リサイクルふれあい館において3Rに関する講習会の実施 ・市民文化フェア、市民フェスティバルへの出展及びごみ集積所におけるチラシの掲示など、リサイクル啓発活動の実施 【処理施設の更新・整備】 ・西部クリーンセンター長寿命化に伴うA系炉機器更新・受入施設整備 ・東部クリーンセンター長寿命化計画策定着手 ・東部クリーンセンター長期包括運営の検討 ・最終処分場整備に向けて地元住民説明会の実施</p>	<p>《③もったいない! 3R行動の実践》 【ごみの減量と資源化】 ・古着・古布集積所収集の開始 ・食品ロスゼロのまち促進事業の実施 ・雑がみ回収推進事業施策の検討 ・集団資源回収事業報償金単価の増額 ・生ごみ処理機器等に対する奨励金交付額割合及び限度額の増額 ・生ごみ減量・資源化講演会の開催 ・ごみ分別アプリ「わけっこ!」の活用 【もったいないの心の醸成】 ・エコロ祭り、出張エコロ市、エコロ市の開催 ・3Rに関する講習会の実施 ・施設見学及び環境学習 【処理施設の更新・整備・運営】 ■東部クリーンセンター ・循環型社会形成推進地域計画(第2次)策定 ・延命化工事及び長期包括運営委託の準備 ■西部クリーンセンター ・長寿命化に伴うB系炉機器更新・C系炉の撤去・灰積出棟の建替え工事 ・長期包括運営の検討 ■一般廃棄物最終処分場 ・整備に向けた地元住民説明会の実施及び基本計画の策定</p>	<p>《③もったいない! 3R行動の実践》 【ごみの減量と資源化】 ・食品ロスゼロの促進 ・古着・古布集積所収集の実施 ・粗大ごみリユース拡大事業の実施 ・災害廃棄物処理計画の策定準備 ・各事業効果の検証 ・検証に伴う事業の是正・改善 【もったいないの心の醸成】 ・3Rに関する講習会等の実施と周知及び啓発(リサイクルふれあい館『エコロ』) 【処理施設の更新・整備・運営】 ・東部クリーンセンター延命化工事及び長期包括運営委託の一括発注 ・西部クリーンセンター長期包括運営委託に伴う要求水準書等の作成及び委託契約の締結 ・一般廃棄物最終処分場整備において、用地買収に向けた測量等を実施</p>	<p>《③もったいない! 3R行動の実践》 【廃棄物減量等推進審議会の開催】 ・所沢市一般廃棄物処理基本計画の部分改訂及び災害廃棄物処理計画の策定(開催回数:3回) 【ごみの減量と資源化】 ・食品ロスゼロの促進 ・各事業効果の検証 ・関係施策の検証と事業の見直し (マチごとプラスチックごみ削減宣言) 【もったいないの心の醸成】 ・3Rに関する講習会等の実施と周知及び啓発(リサイクルふれあい館『エコロ』) 【処理施設の更新・整備・運営】 ・東部クリーンセンター延命化工事 ・東部クリーンセンター長期包括運営委託開始 ・西部クリーンセンター長期包括運営委託開始 ・一般廃棄物最終処分場整備において、建設用地の一部を購入</p>

2. 計画期間における目標指標

指標名	単位	策定時の数値	H30年度実績	H30年度目標値	H30年度における達成率
市域における温室効果ガス排出量の削減率	%	0.89 (H24)	集計中	3.80	0.0%
新たに確保するみどり面積	ha	28.34	84.73	42.00	201.7%
市民1人当たりのごみ排出量	g/人・日	618	575	578	100.5%

3. 第5次所沢市総合計画後期基本計画内にある施策のうち「充実すべき施策」と感じている市民の数(「平成30年度所沢市市民意識調査」の結果)

節名称		「充実すべき施策」と感じている人数 (2,073人中)	割合	全42節中順位
第6章「環境・自然」	第1節「環境との共生」	181人	8.7%	28位
第6章「環境・自然」	第2節「みどりの保全・公園の整備」	353人	17.0%	10位
第6章「環境・自然」	第4節「廃棄物の減量・資源の循環」	247人	11.9%	17位

4. 政策を構成する主要事業の進捗状況

事業名	H30 決算額 (単位:千円)	成果指標				
		指標名	単位	H30 実績	H30 目標値	達成率 (%)
マチごとエコタウン所沢構想推進事業(メガソーラー所沢、フロートソーラー所沢設置運営事業)	125,143	総発電量	MWh	1,811	1,491	121%
再生可能エネルギー普及推進事業	10,003	ところざわ未来電力が電力供給した公共施設数	箇所	23	23	100%
小水力発電設備整備事業	2,765	総発電量	MWh	250	233	107%
里山保全地域等指定整備事業	175,715	新たに確保した地域性緑地面積	ha	84.73	42	202%
ふるさとのみどりの啓発事業	2,643	所沢すみどりのふれあいウォーク参加者数	人	1,624	2,000	81%
所沢カルチャーパーク築造事業	76,830	用地取得面積	ha	23.64	23.64	100%
集団資源回収報償金交付事業	65,452	集団資源回収率	%	13.0%	13%	100%
食品ロスゼロのまち推進事業	509	協力店登録数	店	238	200	119%
古着・単一素材プラスチック等リサイクル事業	8,250	「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」による携帯電話等回収量	個	22,628	20,000	113%

5. 各取り組み方針における進捗状況

1 エネルギー・資源の抑制と創出	2 ふるさとのみどりの保全と創出
<ul style="list-style-type: none"> 平成31年2月より運用開始した小水力発電設備において、250MWhの再生可能エネルギーを創出した。 再生可能エネルギーの普及促進のため、市が51%出資のもと、平成30年5月28日に「株式会社ところざわ未来電力」を設立し、10月から順次市の公共施設23施設への電力供給を開始した。 再生可能エネルギーの普及と既存の再生可能エネルギーの把握を行い、導入や供給意向などの調査を実施した。 環境審議会を年4回開催し、パブリックコメントの実施を経て、「所沢市マチごとエコタウン推進計画(第3期環境基本計画)」を策定した。 徹底した省エネと再生可能エネルギーの利用によりエコタウンの実現を図るため、同目的に資する機器等を導入する市民・事業者の支援(スマートエネルギー推進補助事業)を行った。 マチごとエコタウン推進基金を活用し、市民体育館や市内5地区の公園灯のLED化整備等を行った。 欧州の都市とペアを組み、気候変動適応などの取り組みを学ぶIUCプロジェクトの実施や持続可能で強靱(レジリエント)な地域づくりを目指すため、世界首長誓約/日本に誓約した。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市の貴重な自然環境を次世代につなぐため、駒ヶ原特別緑地保全地区の指定拡大及び上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域の指定を行うとともに、保育園における緑化を行った。 市民協働によるみどりの保全と創出を推進するため、みどりのパートナー(51団体、1,401名)に対する活動支援を実施した。 令和元年度からの所沢すみどりの基本計画を策定した。 ふるさとのみどりの啓発事業として、みどりのふれあいウォーク等を実施した。また、狭山湖周辺の安全な散策路として、人道橋整備工事の発注を行ったが受注業者が決まらず、鋼材等の市場調査を行ったところ、詳細設計の変更を行うこととなった。 所沢カルチャーパーク築造事業については、樹林保全管理計画策定業務を実施した。
3 もったいない! 3R行動の実践	
<ul style="list-style-type: none"> 【廃棄物減量等推進審議会の開催】 廃棄物減量等推進審議会を3回開催し、所沢市一般廃棄物処理基本計画の部分改訂については、東部クリーンセンターの熔融炉廃止や(仮称)第2一般廃棄物最終処分場の反映、災害廃棄物処理基本計画の策定については、緊急仮置場や人員体制等の反映に係る意見をいただいた。 【ごみの減量と資源化】 分別意識を高めることを目的として「プラスチック」の名称を「容器包装プラスチック」に改め、チラシ等でも啓発を行った。 【もったいないの心の醸成】 リサイクルふれあい館における各種講座や「エコまつり」などのイベント、東西クリーンセンターでの「もったいない市」などを開催し、3Rに関する啓発事業を実施した。 【処理施設の更新・整備】 東部クリーンセンター改良工事については、1号炉の基幹的部分の改良工事に着手し、また、東西クリーンセンターにおいて長期包括運営業務委託を開始することで、安定した質の高い施設運営に努めた。 新たな一般廃棄物最終処分場の整備を進めるため、土地所有者等との調整を図りながら整備用地の一部購入を行った。また、基本設計及び地歴調査を実施した。 	

<p>6. 平成30年度における目標の達成に向けた推進状況及び自己評価</p> <p><総評> 各事業については、概ね順調に進捗している。目標の達成ができなかった部分の施策を強化しつつ、今後は、エネルギー・みどり・資源循環の3分野に協働・学習の視点も加え様々な取組みを進めながら、人と自然が共生するまち”エコタウン所沢”の実現を目指していく。</p> <p><各項目の評価> 【1 エネルギー・資源の抑制と創出】 環境基本計画の見直しでは環境審議会を4回開催し、マチごとエコタウン所沢構想の理念を継承し統合したマチごとエコタウン推進計画及び同重点実施計画を3月に策定した。また、再生可能エネルギー普及推進事業として平成30年5月に市が51%を出資して(株)ところざわ未来電力の設立し、10月から順次供給を開始し、合計23の公共施設に環境性能の高い電力の供給を行った。このほか、水素ステーション設置促進事業として、民間事業者へ市有地を貸し出しを行うとともに、基金を活用した公共施設のLED化、さらにスマートエネルギー推進補助事業による太陽光発電設備や省エネ機器の推進などを行い、市域における温室効果ガス排出量の削減に向けた取組みを進めた。これらの取組みなどが評価され、「全国市区サステナブル度・SDGs先進度調査」において、環境部門全国1位の評価をいただいた。引き続き様々な取組みを進めて、エネルギー・資源の抑制と創出に努めていく。また、気候変動への対策を推進するため、世界首長誓約／日本に誓約し、取組みの推進を図った。 様々な取組みを進めているが、市域における温室効果ガス排出状況については、総排出量は概ね減少傾向にあるものの、エネルギーの多くを占める電気使用に係る排出係数は基準年度と比較はまだ高いことから、目標達成は厳しい状況にある。このため、排出量の割合が多い民生部門の対策を中心に、創エネ・省エネ機器の導入支援や様々な啓発事業を実施するとともに、環境性能の高い電力の普及を図りながら、資源・エネルギーに過度に依存するライフスタイルの転換を促していく。</p> <p>【2 ふるさとの緑の保全と創出】 「所沢市みどりの基本計画」に基づき、特別緑地保全地区の指定拡大及び里山保全地域の指定、元三ヶ島二丁目墓地計画地の公有地化、市街化区域における、まちなかみどり保全地区の指定、公共施設の緑化、所沢カルチャーパーク築造事業等の推進が図られていることから、概ね順調に進捗している。また、所沢市みどりの基本計画の改定が完了し、令和元年度から施行する新計画に基づき、引き続き、地域制緑地の指定、緑地保全のための公有地化、公共施設の緑化、所沢カルチャーパーク築造事業の推進を図るとともに、啓発事業の「みどりのふれあいウォーク」の取組みの工夫や、狭山湖周辺人道橋整備事業を着実に進める必要がある。</p> <p>【3 もったいない！3R行動の実践】 所沢市一般廃棄物処理基本計画の部分改訂に係り、廃棄物減量等推進審議会を3回開催し、東部クリーンセンターの熔融炉廃止や一般廃棄物最終処分場等の反映について意見をいただいております。順調に改訂作業は進捗している。 平成30年12月20日には、「マチごとプラスチックごみ削減宣言」を行い、平成31年3月末までを周知・行動移行期間とし、各所属での会議等におけるペットボトル使用自粛、イベントへのマイバック持参の呼びかけ等を行い、本年度には「プラスチックごみ削減タスクフォース」を組織している。 また、リサイクルふれあい館「エコロ」を中心とした啓発事業により、『もったいないの心』の醸成に努めるとともに、「食品ロスゼロのまち協力店登録制度」の充実、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」における携帯電話等の回収目標の達成など、ごみの減量化・資源化を図ることで、目標指標である市民1人あたりのごみ排出量は順調に削減されていることから、目標は達成されているものと判断できる。</p>	<p>記入日 R1.7.26</p>
---	--------------------

<p>7. 政策会議における評価</p> <p>(株)ところざわ未来電力の設立、水素ステーション設置促進事業、基金を活用した公共施設のLED化、スマートエネルギー推進補助事業など温室効果ガス排出量の削減に向けた取組みを進めた結果、「全国市区サステナブル度・SDGs先進度調査」において、環境部門全国1位が獲得できたことは大きな成果である。今後も市民・事業者・市が一体となって、一人一人が身近な行動から地球温暖化対策に取り組むとともに、豊かな自然を大切に保全することで、みどり豊かな「ふるさと所沢」の環境を次代の子どもだちに継承できる「持続可能なエコタウン」を目指していきたい。</p>	<p>記入日 R1.8.27</p>
--	--------------------